

## 第1部 「古代視(史)入門」

### 「歴史探索を楽しむ」

R3. 9. 30(木) 10:00~10:40  
MNC 永野 徹



### 「歴史探索を楽しむ」



- \* (1) 倭人の登場(中国漢書)
- \* (2) 縄文・弥生文化
- \* (3) 古墳文化
- \* (4) 寺院・神社様式
- \* (5) 仏像(菩薩、如来他)



### (1) 倭人の登場(中国漢書)

(時代)	(年代)	(できごと)
○縄文	BC1000頃(周)	論衡(王充)・・・倭人が輻草(チョウカ)を献上 夏(BC2000)、殷(BC1500)、周(BC1000~BC700)
弥生	BC300頃(戦国)	山海経(地理誌)・・・倭人は航海・漁労の民
弥生	BC108(前漢)	漢書(班固著)・・・倭(倭浪海中百余国)朝貢
○弥生	57(後漢)	後漢書(范曄)・・・奴国王が朝貢(金印紫綬)
○弥生	107(後漢)	後漢書(范曄)・・・倭国往来300国、生口160献上 ・吉野ヶ里・面土(炊)国王が朝貢?
○弥生	239(魏)	「魏志倭人伝」= (魏書東夷伝) 三國志(陳寿) ・邪馬台国女王卑弥呼が魏に朝貢(親魏倭王)
古墳	266(晋)	臺与が生口30・絹織物を晋に朝貢

### (2) 縄文・弥生文化

- ① 縄文時代
- ② 弥生時代
- ③ 邪馬台国(卑弥呼)



### ①-1(縄文・弥生)時代比較

	縄文時代 (BC13000~BC300)	弥生時代 (BC300~AD250)
骨格	縄文人(低い・厚顔・毛深い)	弥生人(高い・平面・毛薄い)
気候	温暖(海進)	やや寒冷(海退)
収穫	狩猟・採集・漁労	稲作・狩猟・漁業
社会	共同体(平等)	首長体(貧富差)
衣料	草木縄・網布	稲縄・織布
食料	木の実・肉・魚・貝	米・肉・魚・貝
土器	縄文土器(低温度・高機軸全体)	弥生式土器(高温度・波状機)
墓	共同墓地	墳墓出現・装飾品

### ①-2 縄文時代 ≡ BC(15000~300)

海面: 縄文海進、現在より2~3M、氷河期より100MUP

- \* 遺跡: 貝塚遺跡、堅穴住居跡
- \* 土器: 煮炊用広口深鉢(稲縄紋ではない!)
- \* 石器: 磨製石器(新石器時代)
- \* 気候: 温暖で海面上昇(現在より2~3m)
- \* 繊維: タヌキラン、アカリ、大麻、カラムシ(紐・網布)
- \* 縄種: 縄の太さ(4種使い分け一綱・縄・紐・糸)
- \* 食料: 木の実、貝、魚、エビ、野菜、哺乳類他  
(既に現在の食材と変わらず)
- \* ※縄文後期に稲作開始(最近の研究成果)



## ○縄文遺跡(青森県) BC(3000~2000)頃の遺跡

○縄文遺跡: 三内丸山



## ①-3 縄文植物1(タヌキラン・アカ)

### タヌキラン



群生との開け方  
石葉で根・ワサギ止りする。

### アカ



群生  
おやつがタネ

## ①-4 縄文植物2(麻)

**大麻(アサ)の見分け方**



**【葉の特徴】**



葉は、細長い卵の形に、3~5枚(葉序は奇数)の葉が集まってその中心を囲んで生じます。

葉の裏の入りきり筋が20cmです。

**【花の特徴】**



花は直立し、葉と葉の間に花が咲きます。穂状に、葉の付け根に穂が伸びてきます。穂は直立し、穂が伸びると、穂が折れて倒れます。


## ①-5 縄文植物3(カラムシ)

芋麻(からむし)



## ○縄文時代の布(○網布、織布は弥生)

○縄文時代の網布(あんぎん)



## ② 弥生時代(BC300~AD250)

- \* 遺跡: 環濠集落、小部族国家誕生
- \* 気候: 海面退化(小氷河期▼2~3M)
- \* 土器: 貯蔵用壺、炊飯用甕、刷毛目、叩き目、スタンプ模様
- \* 文化: 青銅器・鉄器文化(農機具等)
- \* 農耕: 水田耕作(稲作が本格的に普及)
- \* 墳墓: 高塚式墳墓が出現(弥生後期)
- \* 特記: 後漢書(奴国王57年)・金印紫綬を授与  
魏志倭人伝(239)・卑弥呼魏へ朝貢



## ②-1 弥生遺跡(部族国家誕生)

日本の歴史



吉野ヶ里遺跡



弥生式土器

## ③ 邪馬台国：卑弥呼(AD239年頃)

### 1. 魏書・東夷伝・倭人抄(三国志)

- ・魏志倭人伝(俗称)：卑弥呼が朝貢
- ・邪馬台国女王(卑弥呼)：金印・銅鏡授与

### \* 2. 邪馬台国論争

- \* 近畿説(奈良：箸墓古墳他)
- \* 北九州説(みやま市他)

## 1. 魏志倭人伝(晋：陳寿) (魏書・東夷伝・倭人の条)

- \* 1. 卑弥呼：(邪馬台国女王)
  - ・239年卑弥呼が魏へ朝貢した
  - ・「金印」と「三角縁神獸鏡100枚」を授与
- \* 2. 邪馬台国 ほどこ；
  - ・倭人：帯方郡から東南海上にある
  - ・旅程：帯方郡(楽浪郡)～12000里
  - ・倭国：多数の小国家連合
- \* 3. 邪馬台国の生活：
  - ・7万戸(56万人)裸足、倭綿(絹)、貫頭衣、鯨面、(食料)米、野菜、魚介類、獣肉、食器、

## 2. 邪馬台国論争

- \* 1. 卑弥呼(魏志倭人伝)
  - ・親魏倭王金印、鏡100枚授与(見つからない)
  - ・「卑弥呼、以って死す、大いに塚を作る。徑100余歩なり」
  - ・殉葬する者、奴婢百余なり(没年：248年頃)
- \* 2. 墓の大きさ；(1長里=540M)≒7×短里
  - ・年代：3世紀半頃 (魏短里)1里=76m=300歩)
  - ・墓の形式：円形墳丘墓(円墳)
  - ・規模：径100歩=150m～30m ≒φ100m?
- \* 3. 邪馬台国論争(卑弥呼の墓候補地)
  - (大和説)：桜井市(箸墓古墳、ホケノヤマ古墳・・)
  - (九州説)：みやま市(権現塚古墳、車塚、女山神護石・)

## ○大和説：奈良県桜井市(卑弥呼の墓?)

箸墓古墳(3世紀半：後円部150m)

ホケノヤマ古墳(後円部55M：画文帯神獸鏡)



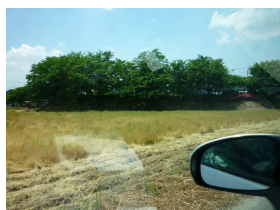
国土交通省 国土画像情報(カラー空中写真) ©元



## ○九州説：福岡県みやま市(卑弥呼の墓説)

車塚古墳(前方後円墳)  
L=55M

権現塚古墳(円墳)  
L=48M



### (3) 古墳時代(3c末~7c初)

- \* ①古墳の種類
- \* ②10大古墳
- \* ③世界三大墳墓



### ①古墳の種類

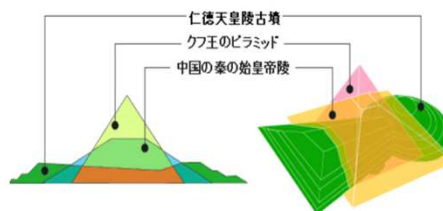
墳形名称	平面デザイン	立体デザイン	説明	主要古墳
前方後円墳 せんぽうこうえんふん			古墳時代を象徴する墳形。死者を葬る部分を円形につくり、その前方部に方形の突き出しを形成。近畿を中心に各地に広がる。	大仙(古)古墳 箸墓古墳 五色塚古墳
前方後方墳 せんぽうこうほうふん			前方後円墳の後円部を方形にしたもの。比較的前期に多く東海地方に顕著に見られる。	西山古墳 太安塚(鳥取) 山内一子塚古墳
円墳 えんふん			古墳時代を通じ、日本全国に分布。後期には、群集墳を形成。	丸墓山古墳 八雲山古墳
方墳 ほうふん			円墳や前方後円墳よりも後の7世紀に現れる。	山田墓前古墳(徳島) 白向山古墳(鳥取)
上円下方墳 じょうえんかほうふん			四角形の方墳の上の方に円墳を載せた構造。確認されたのは、全国で4基のみ。古墳時代後期7~8世紀につくられた。	府中熊野野村古墳 石の方古墳
四隅突出墳 よすみとっしゅつふん			弥生時代から古墳時代の過渡期方墳で四角が突出した特異な形。西日本の日本海側に多く見られる。	西谷古墳

### ②10大古墳

	墳丘長さ(m)	古墳名	陵墓名	時期	所在地	備考
1	486	大仙古墳	仁徳天皇	5M	堺市	百舌鳥古墳群
2	425	菅田御廟山	応神天皇	5B	羽曳野市	古市古墳群
3	365	石津ミナザイ	履中天皇	5B	堺市	百舌鳥古墳群
4	360	造山古墳		5B	岡山市	岡山県古備政権
5	335	河内大塚山		6E	松原市	古市古墳群
6	318	見瀬丸山	欽明天皇	6E	橿原市	堅塩媛陵
7	302	行燈山古墳	景行天皇	4E	天理市	柳本古墳群
8	288	土師ニサンザイ		5E	堺市	百舌鳥古墳群
9	286	仲津山古墳		5B	藤井寺市	古市古墳群
10	276	作山古墳		5M	総社市	岡山県古備政権
11	276	箸墓古墳	百襲媛命	3M	桜井市	卑弥呼? 纏向古墳群

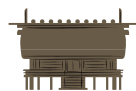
### ③世界三大墳墓の比較

墳墓名	全長	高さ	積体
仁徳天皇陵	486m	35.8m	140万㎡
クフ王のピラミッド	230m	146m	260万㎡
秦の始皇帝陵	350m	76m	300万㎡

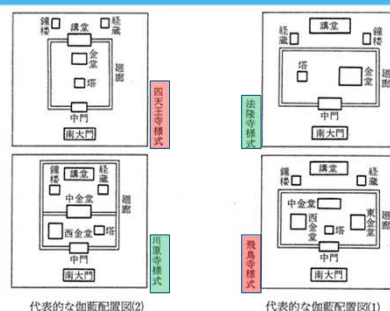


### (4) 寺院・神社様式

1. 寺院様式
2. 神社様式



### 1. 寺院様式(伽藍配置)

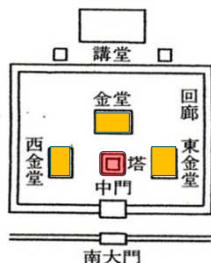




### ① 飛鳥寺様式(日本最古)

\*(飛鳥式伽藍配置)

- 建立: (588~596年)  
蘇我馬子が建立、日本最古の本格寺院  
現在は安居院。高句麗様式の伽藍。  
飛鳥寺=(本元興寺・法万寺・法興寺)
- 飛鳥寺様式; 五重塔  
伽藍: 1塔3金堂形式、609完成  
金堂: 塔に正面を向く  
基壇: 二重基壇(法隆寺と同)  
技術: 百済の瓦職人(588)  
仏像: 金銅釈迦大仏(鞍作鳥)

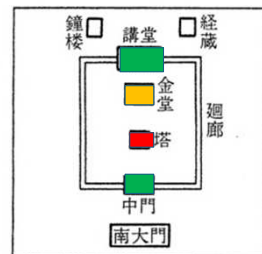


飛鳥寺式

### ② 四天王寺様式

(四天王寺式伽藍配置)

- 建立: 593年建立開始  
聖徳太子が建立。  
(聖徳太子七大寺の一つ) 橘寺・法隆寺・広隆寺・法起寺・中宮寺..
- 伽藍様式、五重塔  
百濟式伽藍配置  
飛鳥寺と並ぶ初期寺院  
1塔1金堂形式  
一直線配置(南大門~講堂)
- 同伽藍  
法隆寺若草伽藍、中宮寺、橘寺、山田寺..



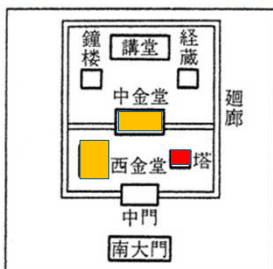
四天王寺様式

### ③ 川原寺様式

\*(川原式伽藍配置)

- 謎の寺(現存:弘福寺)  
建立: 7世紀半? (天智天皇時代)  
飛鳥寺・葉師寺・大安寺と並び飛鳥4大寺。平城遷都時に移転せず謎の大寺。現在は中金堂跡に弘福寺。

- 1塔2金堂形式(S32発掘調査)  
築地堀内部が2区画、五重塔  
中門回廊内(西・金堂+東・塔)  
中金堂回廊内(講堂・鐘楼・経蔵)  
\* 観世音寺など

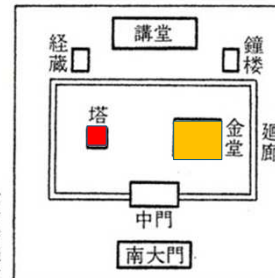


川原寺様式

### ④ 法隆寺(西院)様式

(法隆寺式配置)

- \* 川原寺式の簡略版(小寺院向き)
- \* 仏塔中心から仏様金堂中心へ
- 創建時: 若草伽藍(607)  
\* 聖徳太子の創建
- 再建 西院伽藍、1塔1金堂形式  
法隆寺式=西院伽藍。五重塔  
\* 天武天皇時代(680頃)着手  
\* 和同年間(710年頃)再建
- 現在:  
東院伽藍(夢殿他堂舎)739年  
西院伽藍(五重塔・金堂・講堂)



法隆寺様式

## 2. 神社様式

- 1) 神社境内
- 2) 千木・鯉木
- 3) 本殿様式
- 4) 鳥居様式

### 1) 神社境内(大國魂神社)



## 2) 千木・鯉木



## ① 千木(ちぎ)・鯉木(かつおぎ)

・貴族の邸宅で使用、現存は神社だけ。

1. (千木) 屋根両端のX型支持部材の名残り
2. (鯉木) 屋根葺材の頂部補強用枕木  
(以下は原則、例外も多数)

	○千木形状	○鯉木本数
男神	外削(地面に垂直)	奇数
女神	内削(地面に水平)	偶数

## ② 鯉木の本数(あくまで原則)

○奇数=(男神)			○偶数=(女神)		
本数	神社名	備考	本数	神社名	備考
1, (0)	(?),	宇佐神宮 石清水八幡	2	日光東照宮	
3	出雲大社	春日大社 鹿島神宮	4	熊野速玉大社	
5	住吉神社	熊野速玉大社	6	宗像大社	(田心姫)
7	多田神社		8	大嘗祭 神明社	(加須市)
9	伊勢外宮 (豊受姫神)	香取神宮	10	伊勢内宮	(天照大神)

## 3) 本殿様式

- |         |         |               |
|---------|---------|---------------|
| 1. 大社造り | 出雲大社    | 2間*2間、妻入り     |
| 2. 神明造り | 伊勢神宮    | 切妻・高床式、平中央入り  |
| 3. 春日造り | 春日神社    | 妻入り、藤原氏、1間*1間 |
| 4. 住吉造り | 住吉大社    | 妻中央入り、内部2室    |
| 5. 八幡造り | 宇佐・石清水  | 妻平入り、25000社   |
| 6. 流れ造り | 上・下賀茂神社 | 床下壁、片流れヤネ     |
| 7. 日吉造り | 日吉神社    | 入母屋造り、3方向庇    |

## ① 本殿建物



## <本殿様式>

### ① 神明造り

(神明造りの特徴)

- 4位: 全国1931社
- 伊勢神宮に代表される神社建築
- 神社: 伊勢神宮、日向大神宮
- 仕様: 唯一神明造り、3k\*2k
- 切妻、平入り、高床式、檜のシラ材
- 屋根: 切妻萱葺き、本体千木♀、鯉木10♀、高床式、3間\*2間
- 外部: 中央扉扉、階段、
- 材木: 白木造り、高欄付き回縁



## ② 大社造り

### \*(大社造りの特徴)

- \* 宮殿様式の最古社殿建築
- 神社: **出雲大社**、神魂神社
- 仕様: 屋根: 切妻、置き千木ひ、**懸木3**  
平面: 2k \* 2k、妻入り  
柱等: 棟持ちちうず柱、中央・心御柱  
部屋: 内部4部屋、西向き神座
- 補足: 出雲大社 (H24m、創建時96m)  
高さ: 雲太(16丈)・和二・京三  
出雲大社48m、東大寺45、大極殿  
神魂神社 (創建1346年、現存最古)



大社造

## ③ 住吉造り

### \*(住吉造りの特徴)

- \* 大嘗祭の建物に似る
- 神社: **大阪住吉大社** (全国≒3300社)  
創建: 津守連の租=田裳見宿禰  
(表・中・底)筒男命、息長足姫命
- 様式: 入口: 妻入り, 2K \* 4K  
屋根: 置き千木ひ、**懸木5**  
軸部: 丹塗り、板壁は胡粉塗り  
部屋: 内部2室  
高欄: **高欄縁無し**  
鳥居: 角鳥居



住吉造

## ④ 春日造り

### (春日造りの特徴)

- \* **藤原氏の氏神** (全国3000社)
- \* 鹿島神社、香取神社、秋田神社
- \* 武甕槌命、経津主命、天兒屋根命
- 神社: **春日神社**、吉田神社
- 配置: 4棟小型社東西配置
- 様式: 1K \* 1K 四方  
母屋: 切妻、妻入り、千鳥破風  
屋根: 置き千木ひ、**懸木3**黒塗り  
構造: 階隠し流れ庇、木部丹塗り  
床組: 井桁土台、床下壁有り  
高欄: **正面のみ高欄縁**

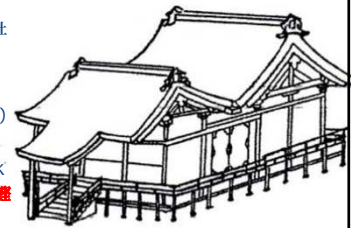


春日造

## ⑤ 八幡造り

### \*(八幡造りの特徴)

- \* **本殿が多数棟形式** 44,000社
- 神社: 宇佐神宮、石清水八幡
- 配置: 宇佐 (本殿が3棟繋がる)  
石清水 (前殿と後殿 \* 2棟)
- 様式: **多棟形式**、切妻 **平入り**、  
構造: 前殿3K \* 1K、後殿3K \* 2K  
形式: 屋根: 檜皮葺、千木・**懸木無し**  
周囲: 正面階段、高欄付き、  
神座: 前殿・御椅子、後殿・神座



八幡造

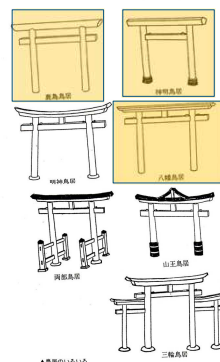
## 4) 鳥居

### \* ① (神明系鳥居)

1. 神明鳥居 (●)
2. 鹿鳥鳥居 (●)
3. 八幡鳥居 (●)

### \* ② (明神系鳥居)

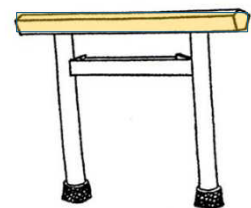
4. 明神鳥居 (○)
5. 山王鳥居 (○)
6. 両部鳥居 (○)
7. 三輪鳥居 (○)



## ① 神明鳥居

### \*(神明鳥居の特徴)

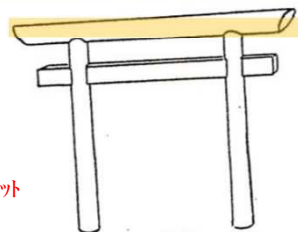
- \* 素朴な鳥居の原型
- 神社: **伊勢神宮**・靖国神社  
春日神社
- 仕様: 柱は円形・垂直が基本  
笠木は直線 **反り無し**  
(伊勢は笠木5角形)  
貫は **出さず** (板材 or 角材)  
**束は無し** 基本
- 其他: 春日神社は鳥木・束有り  
黒木鳥居 (京都市野宮神社)



神明鳥居

## ② 鹿島鳥居

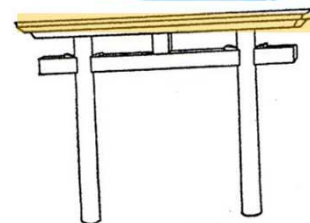
- \* (鹿島鳥居の特徴)
- \* 神明系鳥居
- \* 神社: 鹿島神宮
- \* 仕様:
- \* 貫角材で出る
- \* 笠木木口が斜めカット



鹿島鳥居

## ③ 八幡鳥居

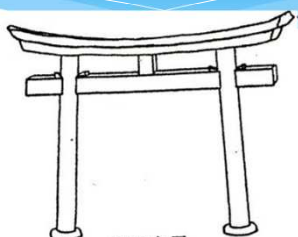
- \* (八幡鳥居の特徴)
- \* 神明系鳥居
- \* 神社: 全国の八幡宮
- \* 宇佐八幡宮
- \* 石清水八幡宮
- \* 仕様: 柱に傾斜
- \* 笠木に鳥木・束
- \* 木口斜めカット
- \* 貫が出る



八幡鳥居

## ④ 明神鳥居

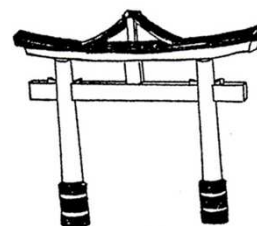
- \* (明神鳥居の特徴)
- \* 明神系鳥居の原典で中世以降は最も一般的な鳥居
- \* 神社: 伏見稲荷、住吉神社
- \* 仕様: 柱は斜め・台座の上
- \* 笠木は曲線的に反る
- \* 木口は斜めカット
- \* 鳥木・束有り
- \* ※住吉系は角柱仕様



明神鳥居

## ⑤ 山王鳥居

- \* (山王鳥居の特徴)
- \* 山王経の神社特有で
- \* 別名は合掌鳥居、日吉鳥居
- \* 総合鳥居とも呼ばれる
- \* 神社: 日吉神社、東京日枝神社
- \* 仕様: 明神鳥居の上に三角形の合掌が乗る



山王鳥居

## ⑥ 両部鳥居

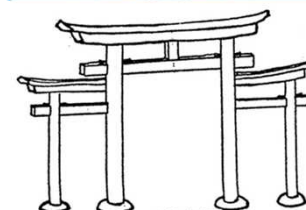
- \* (両部鳥居の特徴)
- \* 明神系
- \* 神仏習合社に見られる
- \* 別名: 権現鳥居、四脚鳥居
- \* 稚児柱鳥居とも呼ばれる
- \* 神社: 厳島神社
- \* 仕様: 柱脚部前後に控え柱



両部鳥居

## ⑦ 三輪鳥居

- \* (三輪鳥居の特徴)
- \* 明神系鳥居
- \* 神社: 奈良の大三輪神社
- \* 仕様: 両側に脇鳥居が付く

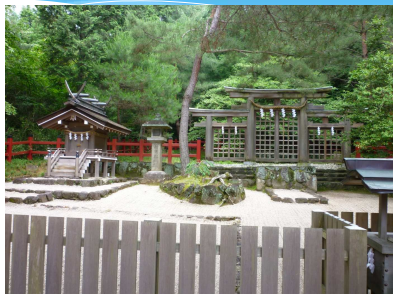


三輪鳥居



## ○三輪鳥居(大神神社・檜原神社)

“山辺の道”自然観察会(H26. 6. 13):檜原神社



## (5) 仏像

1. 如来像
2. 菩薩像
3. 仏像の時代変遷
4. 仏像の補足

### 1. 如来像

(説明)右例:阿弥陀如来像

\* 出家後悟りを開いた釈迦がモデル(簡素)

- (光背) 仏の身体から金色の光
- (化仏) 多数の変身仏が光背に
- (肉髻) 頭部に肉が隆起した知恵瘤
- (螺髪) 巻貝のような縮れ毛
- (白毫) 眉間に生える白い巻毛(放光)
- (三道) 首の三本筋
- (衲衣) 長方形の布(着物)
- (印相) 手・指の組み方で法力を現す
- (結跏趺坐) 両足を両腿上に組む座法
- (蓮華座) 蓮花模様のお仏台座



### 2. 菩薩像

(説明)右例:十一面観音像

\* 出家前の釈迦王子がモデル

\* 古代インドの貴族の華美な服装

- (頂上仏面) 頭頂に付く如来面
- (頭上面) 頭部につく仏の変化面
- (胸飾) ネックレス
- (条帛) 肩から腹部へ帯状の布
- (天衣) 細長いショールの状の軽い布
- (水瓶) 不老不死妙薬=甘露水
- (腕釧) フレスレット
- (纓珞) 貴重品を紐で連ぐ装身具
- (裙) 腰から下に纏う方形の布



### 3. 仏像の時代変遷

- ①飛鳥仏:538~645、中国六朝文化の影響下  
厳しい様相の仏像、正面鑑賞一面的、静のポーズ、銅造・木彫  
素朴、アルカイック笑み、杏仁目、仰月型唇、シメリ、鳥仏師
- ②白鳳仏:645~710、塑像・乾漆像など多様化  
可愛らしくあどけない、写実的動のポーズも、側面視も配慮  
和様化進む、地方へ拡散、百濟・高句麗から渡来者多
- ③天平仏:710~794青丹良し奈良の都(東大寺の金銅大仏)  
塑像、乾漆像、木像、金銅像の完成、豊富な天平美術
- ④平安・弘仁貞観仏、平安前期(794~894),  
\* 木彫像の最盛期、業師如来主体、材の木を多用  
\* 素朴な像、渦文、茶杓文等装飾文様多、
- ⑤平安・藤原仏:平安後期(894~1185)、末法時代で社会不安  
阿彌陀如来像が主体、定朝作(穩やかで温和、扁平、量感小)  
\* 遣唐使廃止による和風味、金色像、奇木造り完成、浄瑠璃寺

### ① 仏像の目の表現

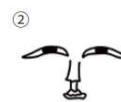
飛鳥時代(592年~645年)

飛鳥時代の仏像の顔は目や鼻など、顔の各パーツが左右対称に作られた物が多く、目の形が杏仁形と呼ばれる図①のような形が多い。表情が固い印象の物が多い。



白鳳時代(645年~710年)

飛鳥時代の終わりの方を白鳳時代と呼ぶことがあります。このころの仏像の顔は前の時代に比べて少し柔らかい印象になり、子供っぽい顔にするのが流行っていたようです。



天平時代・平安時代(729年~1192年)

天平時代平安時代にかけては丸顔で伏し目がちな顔の仏像が多いです。



## ② 仏像の顔変遷



## ③ 飛鳥・白鳳仏像



## 4. 仏像の補足

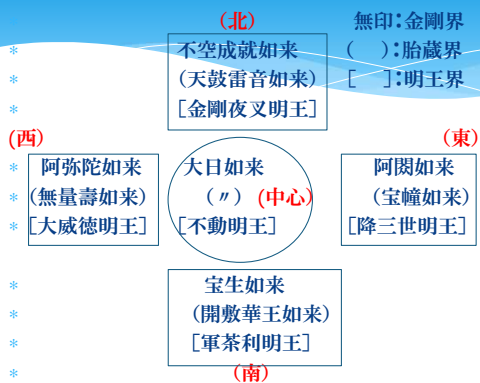
### ① 仏像の組合せ

- \* ①如来像: 阿弥陀如来、薬師如来、大日如来..
- \* ②菩薩像: 十一面観音、千手観音、地藏菩薩..
- \* ③明王像: 不動、降三世、軍荼利、大威徳、金剛夜叉..
- \* ④天部像: 四天王、十二神将、仁王..

### ②如来と菩薩

- \* (基壇の基本配置)
- \* ①大日如来像と如来像(釈迦・薬師・阿弥陀)
- \* ②釈迦如来像と菩薩像(文殊菩薩・普賢菩薩)
- \* ③阿弥陀如来像と菩薩像(観音菩薩・勢至菩薩)
- \* ④薬師如来像と菩薩像(日光菩薩・月光菩薩)
- \* ⑤5大明王=明王像(不動・降三世・軍荼利・大威徳・金剛夜叉)

### ③曼荼羅



## おわり

ご清聴有難う御座いました。